

一般質問では、議員12人が登壇し、町の考えや対応を問いただしました.

平成29年度末完成を目指し 2億5521万5千円を予算計上

特別会計補正予算 般会計補正予算

のとおり可決しました。 6次)を全員賛成で原案 る一般会計補正予算(第 億2294万6千円とす を増額し、予算総額を72 2億4446万3千円

費の減額など。 ほか、社会資本整備総合 時福祉給付金を計上した 第二次補正予算による臨 移転に向けた工事にかか による町道改良舗装工事 る前払金相当額や、 父付金事業の配分額確定 国の

ら繰り入れる。 4千円を財政調整基金か **丁舎整備基金などを充当** 財源は国・県支出金や 不足する8104万

等により、7特別会計で 等の調整や事業費の確定 このほか、職員の給与

主な質疑

秦貞継議員

の考えは。検討委員会の 意見は反映されるのか 委託するにあたっての町 小学校プールの設計を

小学校校舎への役場機能

主な内容は、旧西会津

た。 立ってプールを作ってほ 中では子どもの目線に しいといった意見もあっ えている。検討委員会の 教職員が指導や安全管理 しやすいことを基本に考 児童が安全に利用でき、

三留正義議員

達成率はいかほどか。 が減額となっているが 園芸ハウス整備工事費

する補正予算についても 2642万9千円を減額 可決しました。 全員賛成で原案のとおり

学校教育課長 理由は。 費を補正予算で計上する

役場新庁舎改修等工事

多賀剛議員

も予定以上に進んでおり う、今次の補正に計上し たものである。発掘調査 工事着手が円滑に進むよ 月程度を要することから 総務課長 入札等の手続きで2ケ

小柴敬議員

9千万減額による影響は ないのか 町道改良舗装等工事費

辰林振興課長

るもの。 型を見込んでいたが、夏 かったことにより減額す 秋型を希望する農家が多 を整備した。すべて耐雪 耐雪型1棟、夏冬型5棟 7棟の予定に対して

した。 変更について、全員賛成 伴い、原町北一号線の終 点を変更する町道の路線 で原案のとおり可決しま

建設水道課長

が、工事は計画どおり進 なったことによるものだ んでおり影響はない。 の交付金が減額

道路改良で役場周辺 **週行の利便性が向上**

町道小学校線の改良に



工事に支障はない。

町こゆりこども園条例. 4月開園に向け「西会津

のとおり可決しました。 園条例を全員賛成で原案 た西会津町こゆりこども 管理運営等の規定を定め こども園」の入所定員や 事が進んでいる「こゆり 4月の開園に向けて工

じ料金体系となる。

を200名とし、保育料 は現行の野沢保育所と同 て開園するもので、定員 育所型認定こども園とし こゆりこども園は、 保

子育て期までの育児支援 児童クラブと妊娠期から 施設となるものである。 本町の子育て支援の拠点 支援センターが設置され、 を切れ目なく行う子育て (4ページに関連記事) また、施設内に放課後

質疑

小柴敬議員

なるのか。 の資格、人数規定はどう センターそれぞれの職員 児童クラブ・子育て支援 認定こども園・放課後

健康福祉課長

児童クラブについては、 予定である。子育て支援 上になるように配置する 法律で定められた基準以 認定こども園・放課後

ので、職員の配置を精査 して今後決定する。 センターは、

町の施設な

2

三留満議員

うなるのか。 だが、保育料の扱いはど からも入園可能とのこと 定員内であれば他町村

健康福祉課長

居住する市町村が課し、 たちになる。 負担金として町に入るか が前提であり、保育料は の認定を受けていること 人園は居住する市町村

長谷川義男議員

多賀剛議員

1 のか。 らの問い合わせはある ほどになるか。町外か 開園時の人数はどれ

健康福祉課長

150人程度での開園

を見込んでいる。

等は、 受けていない。 町外からの問い合わせ 現在のところ特に

> 例が提出されないのは、 材料があるからか。 4月開園に向けて疑念 現行保育所の廃止条

健康福祉課長

う必要があるため、条例 が必要なことと、指定管 認定こども園の許可申請 の制定のみ提案した。 理者の指定を先行して行 開園に向けて年度内に

放課後児童クラブの時

るのか。 の際、利用料は加算され でも利用できるのか。 間延長は申し込みが1人 そ

健康福祉課長

ある。 らず、加算しない考えで こども園の延長保育同様 の加算は現在も行ってお 7時までは預かる。料金 利用者が一人でも認定

決しました。 員賛成で原案のとおり可

の最中である。

職の全体的な報酬見直し

現在、町で非常勤特別 農業委員会事務局長

めるとともに、農業委員 現行の23名から12名に改 議会の同意による町長の 会が委嘱する定数11名の 任命制とし、委員定数を の選出方法を選挙制から 新制度では、農業委員

月19日の現行の任期満了 をもって新制度に移行す を進めることとなる。 効活用に向けた取り組み を新たに設け、農地の有 農地利用適正化推進委員 本町では、平成29年7

新体制への移行を前に

委員等の定数を定めた西 の定数に関する条例を全 会津町農業委員会委員等 に伴い、新制度での農業 条例」を新たに制定 委員等の定数に関する 「西会津町農業委員会 農業委員会制度の改正

すとのことだが。

今後、委員報酬を見直

三留正義議員

質疑

制度改正をどう捉えて 荒海清隆議員

いるか。

捉えている。 明確に位置づけされたと 農業委員会の業務として 解消、新規参入の促進が 遊休農地の発生防止及び 担い手への農地集約化、 農業委員会事務局長



る

ここが聞きたい

(質問順序および内容)

- ○三留満議員(9ページ)
 - ①菌床きのこの産地づくり目標
 - ②農業公社設立の必要性

○秦貞継議員(14ページ)

- ①町内危険箇所への対応は
- ②町道の維持管理について
- ③小学校プール設置の検討経過

○薄幸一議員(12ページ)

- ①旧新郷小体育館トイレ改修は
- ②国際芸術村周辺の環境整備を
- ③高速道路新料金制度の活用は

○小柴敬議員(6ページ)

- ①定住・交流事業の進捗状況は
- ②ふるさと納税への取組みは

○三留正義議員(10ページ)

- ①雪室施設修繕の考えは
- ○渡部憲議員(13ページ)
 - ①ミネラル野菜の栽培方針は
 - ②遊休施設の利活用方針は

○猪俣常三議員(16ページ)

- ①重点事業の進捗と今後の展望
- ②風評被害の払拭について

○伊藤一男議員(5ページ)

①次期町長選挙への出馬は

○長谷川義雄議員(15ページ)

- ①交流促進に向けて情報発信を
- ②災害時の業務継続計画は

○多賀剛議員(11ページ)

- ①監査委員制度について
- ②トップセールスの成果と展望
- ③移住定住と交流事業の推進を

○青木照夫議員(7ページ)

- ①災害時の備蓄・通信手段は
- ②人口減少に耐え得る町づくり
- ③町長の政治姿勢

○清野佐一議員(8ページ)

- ①新年度の新規事業・重点事業は
- ②協働のまちづくり
- ③横町館跡発掘調査の経過は
- ※掲載ページは抽選による。
- ※掲載記事は2項目まで。

地方税法の改正に伴い 税条例等を改正

条例の一部を改正 職員の給与に関する

国の人事院勧告及び県

例及び西会津町国民健康 例等の一部を改正する条 見直しされる。 算定における所得要件が 税及び国民健康保険税の のとおり可決しました。 る条例を全員賛成で原案 する条例の一部を改正す 保険税条例の一部を改正 改正により、個人住民

正に伴い、西会津町税条 国の平成28年度税制改

可決しました。

改正により、

町職員の

例の一部改正する条例を た職員の給与に関する条 の人事委員会勧告に準じ

全員賛成で原案のとおり

で原案のとおり可決しま いて、いずれも全員賛成 の指定管理者の指定につ 会津町こゆりこども園」 「老人憩の家」の2施設 4月開園予定の「西

した。

も5年

た公の施設は次のとおり。 指定管理者が指定され

当が見直しされる。

平成29年度からの扶養手 分引き上げるとともに、 当の支給月数を0・一月 セント引き上げ、

勤勉手

俸給を平均0・0七パー

公の施設3施設の指定 管理者を指定

理を任せている公の施設 で指定期間満了となる 15施設のうち、 「林業研修センター」 町が民間等の団体に管 今年度末

▼こゆりこども園

づ福祉会 社会福祉法人にしあい

※指定管理期間はいずれ

陳情者 会長 今泉裕

【審議結果】継続審査

お詫びします。

充を求める陳情

福島県労働福祉

▼林業研修センター (指定管理者) 会委員の選任に同意 固定資産評価審査委員

*老人憩の家 西会津町森林組合

【指定管理者】 社会福祉法人西会津町

することに同意しました。

伊藤重人さん(塩)

ついて、

次の3名を選任

提出先 意見書

衆議院議長ほか

産評価審査委員会委員に

任期満了による固定資

社会福祉協議会

【指定管理者】

齋藤和則さん(上野尻

高濱悦子さん(8町内)

設及び無利子奨学金の拡 提出された陳情 「給付型奨学金」 の 創

訂正とお詫び

号4ページ、小柴敬 報課長を企画調整課 議員の質疑で企画情 いました。訂正して 長と誤って記載して 議会だより135

提出した意見書

金制度への加入を求める ■地方議会議員の厚生年 伊藤一

男

らのことが私に託された

いるところであり、これ

次期町長選

答

出馬の意思を固めている

町長

問

3期目出馬の意向は

が不可欠である。 て強力なリーダーシップ 卓越した政策手腕、そし 町政の継続性と先見性、 うな難局を乗り切るには が山積している。このよ 少など地域における課題 会情勢が続く中、人口減 また、町民と議会と共 全国的に厳しい社

えるがいかがか。 挙出馬を決意すべきと考 3期目となる次期町長選 と負託に応えるために、 りを推進し、町民の期待 に自立・協同のまちづく

> 戍 現を基本理念に掲げ、 各種施策に取り組んでき 安心』を基本政策として 町民の声を聞く町政の実 『教育の振興と人材育 『地域経済の活性化』 私は2期の町政を担当 町勢の均衡ある発展 『健康づくりと安全

ている。 町のブランド化が図られ に「ミネラル野菜の家」 平成28年8月に、道の駅 若手経営者が育つなど、 域経済の活性化』では、 がオープンし、4店舗の その結果として、『地

> ることになる。 も平成29年4月の開園に 成』では、小学校の統合 教育グラウンドが完成す 環境が整い、新しい総合 育所から小中学校までの でおり、これにより、保 向け、建設が順調に進ん 会津町こゆりこども園_ 備えた認定こども園「西 子育てと幼児教育を兼ね が進められている。また、 審議会において鋭意検討 できる体制が整い、現在 により、小中一貫教育が 『教育の振興と人材育

発に行われ、約40サロン を高める取り組みでは、 組みを推進し、健康寿命 診の相互連携による取り 心』では、食・運動・健 地域サロン活動」が活 。健康づくりと安全安

> 心では、雪対策基本計画 できた。 づくりの推進に取り組ん を策定し、雪に強いまち が活動しており、安全安

ミットなど県境を越えた 連携による交流人口の拡 のこ生産、越後街道サ 森林を活用した大規模き 時に地方創生を取り入れ これまでの総合計画と同 て、 に始まろうとしている。 した事業の展開が本格的 大など、町の特性を活か これを拡大するために また、今後の展望とし 人口減少問題では、

> 成し遂げなければならな 課題として責任を持って いと思っている。 今、町は新しい時代へ

移り変わっているところ

ならないとの決意から次 である。 意思を固めているところ 期町長選には十分出馬の であり、流れを変えては



平成29年8月4日で任期が満了する

議会だよりにしあいづ/平成29年1月/136号

専門サイトへの掲載は

考えていない



議員

敬

てはどうかと考えるが。 トの入賞米を返礼品にし 会津一うまい米コンテス 玉となるものとして、西 問 ふるさと納税の目

問

次年度、民間のイ

農林振興課長

考える。 家のみの対応は厳しいと が限られており、受賞農 あるが、生産者の供給量 なお、受賞者が生産す 有効な手段の一つでは

ているところである。 ム価格での販売を実施し る米についてはプレミア

てどのように考えるか。 いるが、このことについ かい対応で成果をあげて て返礼するなど、きめ細 俵を10㎏ずつ6回に分け 湯川村では、米1

町民税務課長

に寄与していると考える。 に還元され、地域活性化 本町では、米をはじめ 1万俵の米代金が農家

日本酒、 考えである。 域活性化につなげていく おり、湯川村と同様に地 地場産品を返礼品として 民芸品といった

考えはないか。 ンターネット専門サイト への掲載を予算計上する

町民税務課長

現在までどのような成果

ていきたい。

も継続してアプローチし

者は出ていないが、今後

内容や他自治体の実例等 検証しながら判断したい。 を調査し、 ことから、各種サイトの 現段階で考えはない。 貴重な財源を投入する 費用対効果を

住

問 西会津国際芸術村 各種事業を展開中

ミネラル野菜、きのこ、

環境は整っているか

促進

総合支援センター」では に設置した「定住・移住

を上げているのか。 商工観光課長

を行っており、これまで 推進するための情報発信 54件の相談を受け、実際 町外からの移住・定住を に移住した方は5組7名 国の交付金を活用し、

験ツアーの実績は 西会津の暮らし体

町への移住を検討してい 首都圏在住者を中心に 商工観光課長

に実施し、9名の参加が る参加者を募集して7月

これによる町への移住

に確認し、今後に生かす

ととしている。

流事業の成果をどのよう

野に入れ、今年度中に基

本構想としてまとめるこ

問

移住・定住及び交

となっている。

事業者に実績報告書の

商工観光課長

での参考とする。 提出を求め、成果 針を検討するうえ を確認するととも に、今後の運営方

用した合宿団体に 事業の進捗状況は ス)基本構想策定 さゆり公園を利 商工観光課長 (セミナーハウ 合宿交流施



問

ホームページで情報発信

の旅館、農家民宿との協 合宿交流施設の規模等の ニーズ調査を実施して、 検討を進めており、 町内

力・連携関係の構築も視

青木照夫

人口減少は、有効

政運 営

問 |減少に耐え得る策は

産業振興と集約化を推准

との考えから、次の点を 手段がないのが現状であ る町づくりが必要である るが、人口減少に耐え得

される。 は5500万円減の5億 交付税で4分の3が補助 町税が減収になった分は 2千万円を見込んでいる。

円に対して、平成33年度

3 共施設や「限界集落」 財源確保が困難な状

る方策はあるのか。

再編成による集中化は、 公共施設や限界集落の 集落の再編成につい 行政で進めるもの

中化」対策が必要と思 の再編成を含めた「集 考えれば「あれかこれ 況で「費用対効果」を か予算」しかない。公

企画情報課長

1

住民税・固定資産税

2

自主財源を増加させ

今後の30年間における が主な収入であるが、

5年ごとの収入は。

総務課長

策として、まち・ひと・

自主財源を増加する方

しごと創生総合戦略を策

きず、 ではない。 ては費用対効果で判断で 保育所の統合を進めてい 中学校、小学校に続き、 児童生徒の減少に伴い、

みとして、平成28年度の いが、今後5年間の見込

た新たな産業づくりや、 定し、森林資源を活用し 30年先の予測は出来な

合計5億7559万1千

の確保に努める。

極的に展開し、自主財源 定住・移住の推進等に積

> 北」10月号「町長2期目 載されたが、町長の所見 の驕り」、11月号「町長 の反論」と題して連続掲 問

月刊誌「政経東

改めて述べるものではな 材に対して答えており、 係については、記者の取 編集されていて、事実関 月刊誌は投書をもとに

減額を掲げていない。 2期目の報酬については 公約に実行したもので、 ついては、1期目の選挙 長答弁で、町長報酬額に 問 昨年6月議会の町 自

東」した「公約」を守る 補した時、「町民に約 なことは、町長選に立候 したと述べている。 らの政治姿勢として判断 自治体の長として重要

ると思うが。

ことが「政治姿勢」であ

断した。 特別職の報酬を考えて判 の対応で、議会、職員、 聞く行政として、その時 町民の響きのある声を

公約を果たしているか

その時々で約束を果たす



調査報告書の作成に向け

調査員辞退の真意は

議員

問

埋蔵文化財発掘調

ずにいる。今年度の調査 平成27年度に着手予定 の成果について伺う。 けた改修工事は遅れ、未 だった役場庁舎移転に向 査が必要になったことで だに庁舎として使用でき

どおり実施できた。 いる調査について、予定 の渡来銭と陶磁器の破片 た遺物としては、数種類 発掘調査により出土し

をもとに埋蔵文化財発掘 跡4棟が確認されている。 立柱建物と思われる建物 今後、発掘調査の成果

> 答を求める。 たことから、誠意ある回 得できるものではなかっ 度に渡り質問したが、納 なかった理由についてニ の専門員の方が参加され 調査に関して、試掘調査 に携わった3人の考古学 この横町館跡発掘

教育長

き続き調査に加わっても していただけなかった。 理解をいただけず、参加 行為があったことにより、 方々に対して配慮を欠く 家が立ち会うべき工事の が、発掘調査を前に専門 らえるようお願いをした 部において、専門家の 発掘調査においても引

2 都市計画の策定が必要 ター」の建設も含め、

ととしている。

て、十分な考察を行うこ

ル建設は

児童の願いいつかなう?

今年度行うこととして 教育長

などを確認した。 また、鎌倉時代から明

手続きで配慮に欠けた

れる無数の柱穴や土坑、 代は特定できないが、 堀跡や溝、井戸などの遺 構が検出されたほか、 時 堀

> る か。 企画情報課長

仮称「町民文化セン

予算編成となることから 町政2期目の任期最後の

町民文化センター整備

来年度予算は伊藤

と考えるが。

次の点について伺う。

新規事業を考えてい

年度立ち上げ、

検討を進

合的に検討する組織を来 の誘客や景観づくりを総 を含めた野沢まちなかく

1

計画されている。 のための調査事業などが 業の推進、防災行政無線 想の策定、菌床きのこの 業、若者定住促進住宅構 幹線道路の整備計画策定 のデジタル化整備事業、 養施設、パイプハウス事 大規模産地化に向けた培 る認定こども園の運営事 平成2年4月に開園す

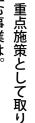
治時代のいずれかと思わ

なかった。町の考えは と期待をしたが言及され プールの建設があるもの 新規事業に小学校

副町長

の3次補正にメニューが 上したところであり、 出れば、すぐに取り組み ルの基本設計委託料を計 今次の補正予算にプー

成の中でも検討していく。 平成29年度当初予算編



3

組む事業は、

町長

重点的に取り組む。 文化基本構想」の策定に て支援事業の継続、 貫教育の推進、 出産祝金事業など子育



予算編成の中で検討

議員

菌床きのこ

問 大規模産地化の目標は

口億円の産地を目指す

3

の点を問う。 取り組みの方針として次 化に取り組んでいるが、 菌床きのこの大規模産地 による豊かな町を掲げ、

町は農林業の振興

たけ販売額は約1億円に

大規模産地化の目標

見込まれている。 生産量と販売額の増大が 産者が増加傾向にあり、 菌床きのこ栽培は、生 町内の菌床しい

> いる。 これにより生産量は1. 設の不足が課題となって 達したが、今後更に拡大 5倍に増加する見込みで していくうえで、培養施 施設整備を計画しており、 このため、平成29年に

期間とし、リース事業に 的には10億円の産地を目 棟数の整備を進め、 より、できるだけ多くの を菌床ハウスの集中整備 あわせて、今後5年間 将来

2

画は。

組みやすくなることであ ない移住者が栽培に取り 新規参入者や農地を持た 団地化のメリットは、

ラーを導入することで、 用に木質バイオマスボイ さらに、 ハウスの加温

栽培施設の団地化計

ている。 奥川地区においても、

地化が図られるものと考 本町の特色を生かした団 化

の必要性はこれまで以上 するためにも、農業公社 に重要になってくる。 作放棄地の拡大等に対処 後継者不足による耕 農業従事者の高齢

考えは。 等を活用した団地化の 要と考えるが、遊休地 菌床きのこの振興が必 奥川の活性化には、

け栽培は大変有効と考え 対策として、菌床しいた 奥川地区の農林業振興

遊休地等の活用した団地 意向や将来計画も含め、 えられるので、生産者の 生産が増加することも考 化も検討していく。



菌床きのこで産業振興を

進展はあるか

設立に向け検討

農化、農業の法人化を支 検討を進めていきたい。 援しているところである 確立が急務と認識し、 的で合理的な生産体制 農業公社の設立に向けた して関係者のみなさんと に対応する手段の一つと 定農業者の育成、集落営 今後は、これらの課題

後の進展はあるのか。 上げられているが、その これまでも議会で取り

農林振興課長

取り巻く環境は、より厳 増加などにより、農業を 継者不足、耕作放棄地の 策の見直し、高齢化、 になる。 しい状況を向かえること 平成30年産からの米政 後

利用化や集落営農の組織 営から、農業機械の共同 化、法人化、認定農業者 による大規模化等、 などと連携した農地集積 町では、小規模農業経 認

不具合のままでいいのか

現状でも利用可能

である。

劣化しにくいと考えら が変わらないことから、 いないが、 るとのことであった。 で食味検査や試食はして 2年が経過した現時点 精米の見た目

平成28年産41袋を貯蔵し 例を参考に5年間の保管 を計画し検証中とのこと ており、新潟県の先進事 方が、平成27年産3袋、 いては、町内の農業者の 雪室貯蔵米の実験につ

用が可能というが、

うなので、 備の導入を是非検討した が必要と考えるが。 内の温度にムラがあるよ 扇風機など、簡易な設 農林振興課長 何らかの対策

が、その後はどうなって 弁に不明な部分があった における検証データの答 雪室施設について質問を たところ、米等の試験

いるのか伺う。

当面は現状のままで利

農林振興課長

べきと考えるが。 た良好な状態にしておく 整備した施設であるから、 農林振興課長 空調設備を修繕し 国の補助を受けて

西会津町雪室貯蔵施設条例(抜粋)

自然循環型での

施設 利

平成9年3月25日条例第22号

(設置)

第1条 地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき、雪の冷気と湿度を利用して農産物等の保存を行い、 利雪による産業振興と利雪意識の高揚を図るため、雪室貯蔵施設(以下「雪室施設」という。)を設 置する。

(業務)

- 第3条 雪室施設において行う業務は、次のとおりとする。
- (1) 施設の活用による利雪事業の振興及び普及に関すること。
- (2)農林産物及び地場産品の保存の試験に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用に関すること。
- (4) 略

(使用料)

- 第9条 雪室施設の使用者は、使用料を納めなければならない。
- 2 使用料の額は、基本容器 1 個 1 日当たり 4 円とする。なお、基本容器の基準は別に定める。
- 3 使用料は前納しなければならない。ただし、町長または指定管理者が相当の理由があると認めるときは、 この限りでない。

(使用料の免除)

- 第10条 町長または指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用料の全部又は一部を免除 することができる。
- (1) 利雪事業のための試験的利用
- (2) 地場産業振興に資するための試験的利用
- (3) その他地域産業振興のために必要と認められる利用

多賀

剛

きと思うが町の見解は、 的交流を今以上に増すべ

友好都市等との人

流促進

問 拡大の方策は

答 一イベントで誘客

の推進が有効といわれて 流人口拡大、二地域居住 つとして移住、定住、交 人口減少対策の一

済効果をどのように考え これらによる本町への経 ついてどのように認識し 住、定住、二地域居住に ように感じるが、町は移 ついては若干伸びている 努力もあり、交流人口に めがかからない中にあっ 昨今、人口減少に歯止 各種団体や自治区の

> 2件の売買契約が締結さ 空き家バンク事業により 54件、5組7名の移住を の実績として、相談件数 コーディネートしており 現在までの移住、 定住

計され、経済効果も非常 が開催されており、来町 は年間70近くのイベント 握していないが、町内で 者は19万人を超えると推 二地域居住の実態は把

商工観光課長

の検討をしていきたい。 現在行っている取り組み に加えて、来年度何らか モニターツアーなどの

> 2人を町長室に呼び注意 いる。その後、監査委員 査委員への苦言を呈して 会閉会のあいさつで、 町長は、9月定例 り、このような行為は監 行使するものとされてお から独立して職務権限を の指揮命令は受けず、長

事の重大性を認識し、

厳に慎むべきと考えるが。

ということはない。 身について話をしただけ たい。今後は誤解を招く たのであればお詫びをし で、監査委員を注意した いただいて9月議会の中 監査委員が不快に思っ 閉会後に町長室に来て な事態である。 度の根幹を揺るがす深刻 查委員制度、地方自治制 行為において、上級機関 思っているか。また、 制度について率直にどう していきたい。 ような行動は十分注意を 長の補佐役としての認識 問

副町長は監査委員

をしている。

監査委員は、その権限

受け止め、改善すべき点 は改善していきたい。 の内容については真摯に 監査委員の意見や報告 副町長

から外れるような時は、 道にそれたり、本来の筋 られたということで、 しっかりと対応していく。 今回は町長の思いを語 脇

独立性の保持は

十分に尊重している

に高いものと考える。



監査委員は職務上独立

外のガソリンスタンドの

活用により、空白区間の

新料金制度活用の考えは

議員

ことや、また、高速道路 解消に努める必要がある

トイレ改修計画は

誘客効果を期待している

るが、町の見解は。 も効果があると期待され リンスタンドでの利用が ば、本町の道の駅やガソ 予定とのことである。 を2017年度にも導入 見込まれ、地域活性化に この制度が導入されれ

告に示された新たな制度

るが、トイレが使用でき

されていないが、中間報

企画情報課長

その対応として高速道路 も存在していることから 空白区間が全国で83箇所 的な利用に向けて、 距離が100km以上の のガソリンスタンド間の 報告として、高速道路上 が進められており、中間 審議会」を設置し、検討 交通省に「社会資本整備 トワークの効果的・効率 国では、高速道路ネッ 国土

たところである。 要があるなどと報告され 観点から連携していく必 便性による地域活性化の 高速道路の利用促進や利 商業施設等については 近傍にある道の駅などの 詳細についてはまだ示

ジを途中下車しても料金

速道路のインターチェン

問

国土交通省は、

が割高にならない新制度

考えている。 ば、道の駅などの利用者 ることから、町としても かへの誘客にも期待でき 済の活性化や野沢まちな 増にもつながり、地域経 が導入されることになれ 十分注視していきたいと

旧新郷小学校体育館の

新郷体育館

館は、 育行事などで使用してい 閉校後も地区の体 旧新郷小学校体育 優先度合いにより判

ずに不便を来たしている。 生涯学習課長 改修する予定はあるか。

校舎のトイレを利用して 利用に適さないため使用 トイレは汲み取り式で、 いただいている。 禁止とし、旧新郷小学校 水道も接続されておらず、

すべての体育施設の状況 把握と優先度を見定め、 こととしている。 計画性をもって検討する

改修については、町内

渡って70m~80m程の距 イレまでは、渡り廊下を 旧新郷小学校のト

トイレが不便な新郷体育館

るには非常に不便である。 離があり、夜間等使用す 優先度は高いものと考え

生涯学習課長

状把握が必要である。 まずは、それぞれの現 るが。

生涯学習課長

ものであり、雨漏り箇所 は早急に修繕を実施する 体育館と校舎をつなぐ

考えである。

あるか。 しているが、改修予定は 問

渡り廊下が雨漏り

断

渡部

休施設

問 今後の活用方針は

活用と解体の両面で

学校は解体して跡地利用 要となるため、集会所と ついては大規模改修が必 用については、検討段階 図ることとしている。 を、旧群岡小学校は倉庫 しての活用は難しい状況 い野沢、尾野本保育所に であるが、老朽化が著し 工場として貸与や売却を また、保育所の跡地利

考えているのか。

企画情報課長

の集会所などへの活用は るのか伺う。また、町内 利活用について、町とし

本町の遊休施設の

て今後どのように対応す

計画を策定し、活用でき 会津町廃校施設等利活用

町では平成24年度に西

に活用し、活用が見込め る施設については積極的

としている。 か整備の検討会議を設置 して、検討していくこと については、野沢まちな なお、野沢保育所跡地

されていない旧尾野本小 う方針のもと、現在活用 いては解体撤去するとい ず危険性のある施設につ

> 料は一貫して農協を通じ て販売されているが、農 とは出来るのか。 家が他店から購入するこ

問

ミネラル野菜の肥

あるホームセンターのよ 大型量販店や、町内に ミネラル野菜は、土壌

農林振興課長

ものである。 どこからでも購入できる をして栽培されており、 の診断結果に基づいて、 土壌改良肥料や施肥管理 部の専用資材を除いて

は きれば選択の余地が広が うなところからも購入で ると考えるが、町の見解

多くなっているものと思 ていて、購入しやすいこ 適量の肥料・資材が揃っ 土壌診断書に基づく適材 とから農協からの購入が

家の判断に委ねているが 購入先については各農

肥料・資材は専売か

他店でも購入できる



る際に出動するよう出動

を積極的に進めていく。

ただいており、

べりに対しては、現在、

修繕計画の考え方は 問

議員 貞継

する町の考えを問う。 不安を抱える箇所がある。 町道において、道路の老 あるなど、通行や歩行に 幅が狭くて転落の危険が 杓化や、落石・雪崩・道 町道の維持・管理に対 町民生活を支える

はどの程度か。 近年の町道修繕実績

建設水道課長

1

加傾向にある。 ており、近年は経費が増 で年間約8千万円を要し 道路と橋梁の維持補修

優先度合いにより実施

は15㎝の積雪が見込まれ 除雪に関しては、 険箇所はない。冬期間の ちが利用している町道 通学路に関し、 に、除雪を含め、 箇所はないか。 建設水道課長 通学路として子供た 本年度 特に危 危険

> 3 どのように周知するの あるなら、町民に対し、 また、修繕する計画が て優先順位等はあるか 町道維持管理におい

建設水道課長

町内には、災害が

となっている。

次進めており、軽微なも ることで周知している。 時点で自治区長に連絡す 施工時期がはっきりした のを除いて、修繕工事の 険度と緊急度を勘案し順 修繕の優先順位は、危

> 町の対応と今後の考えを 発生した場合、地域住民 の生活が脅かされると思 われる危険箇所があるが

所47箇所となっている。 崩壞危険箇所地区28箇所、 流出危険箇所が142箇 山腹崩壊等による土石流 計画策定時おいて、山腹 また、地すべり危険箇 平成25年3月の町防災 町民税務課長 所を把握しているか。 ぼすと思われる危険箇 住民の生活に影響を及 れ・地すべり等で地区 急傾斜地崩壊危険箇 町内における土砂崩 国土交通省所管14 林野庁所管9箇所

かけを強めていく。

険 筃

基準を見直している。

地すべり箇所への対応は

関係機関に働きかける

べりと、奥川地区に向 かう県道の地すべりに 対する町の考えは。 黒沢大滝地区の地す

建設水道課長

事務所に対して、町から 連携して事業を進めても 整備を所管する会津農林 喜多方建設事務所と森林 今後は河川管理者である 情報提供するとともに、 黒沢大滝地区に関して

いただく。

るので、十分検討させて



黒沢大滝地区の地すべり

町民税務課 ホームページ等で公開 にも分かりやすいよう、 大変良い考えと思われ してはどうか。 危険箇所が一般町民

長谷川義雄

流促進

問

地域イベントのPRを

答 積極的に行っている

を実施しているが、交流 に、定住交流促進事業等 活力ある町を目的

商工観光課長

は。

人口の拡大や定住促進策

推進していく。 住促進を重点目標として 後も交流人口の拡大と定 れる」の実現に向け、今 域力を活かし 人に選ば 地方創生に掲げる「地

ント情報を、観光ガイド りに取り組む地域のイベ 活力ある地域づく

ている。

ブックに掲載し、町内外 にPRする考えは。

商工観光課長

ムページ等に掲載してい や町観光交流協会のホー いては掲載している。 したいイベント等は、 また、新規や広く周知 継続性のあるものにつ 町

広く町内外にPRを行っ も情報提供して、紙面に 掲載されることによって さらには地元新聞社へ

代替庁舎の特定は

旧西会津小学校を想定

庁舎は耐震基準に不安が 問 現在使用している

なった場合の代替庁舎を 現庁舎が使用不能と

ている。

特定しているか。

の管理は安全か。

健康保険、介護保険等の のデータセンターに確保 データは、役場庁舎以外 個人情報を含む基幹的な 住民基本台帳や町税

総務課長

されており、安全である。

校舎を代替庁舎に想定し 先である旧西会津小学校 現状は、役場庁舎移転

問 重要な行政データ

総務課長

を進める考えである。 とから、今後、鋭意作業 的な調整が必要となるこ 定や対応方法など、全庁 策定には優先業務の選

役場機能

いかなる時でも万全の備えを

問

業務継続計画を策

定しているか。

現在のところ未策定で 総務課長

あり、県内で業務継続計 市町村である。 画を策定しているのは7

払拭に向けた取り組みは

問

猪俣常三

ップセールスを展開

どのモニタリング検査と 同でアンテナショップを により、安全性が確認さ 米の全量全袋検査の実施 もと、園芸品目や山菜な や横浜市鶴見区、埼玉県 誌の発行、現地ツアーを との交流会の開催、 浜市鶴見区に棚倉町と共 いては、生産者の協力の に向けて取り組んできた 出展して、風評被害払拭 実施したほか、世田谷区 開設し、消費者と生産者 三郷市などのイベントに 町内産の農林産物につ 友好交流関係にある横

よって放射性物質が飛散 評被害払拭への取り組み 原子力発電所の事故に 東京電力(株)福島第1 し、農林産物等に風評被 した東日本大震災に伴う 2011年に発生 好評をいただいており、 ピングセンターなどにお 米の販売促進についても、 てきた。 て販売促進活動を継続し いて生産者と一緒になっ マーケットや大型ショッ 行うとともに、スーパー その結果、消費者から

てきている。 評払拭の成果があらわれ 取引も生まれるなど、風 関西方面において新規の

Ш

問してトップセールスを

青果市場等流通業者を訪 れており、JA組合長と

事業の進捗は

組みは。 事業などの新規事業の取 事業、認定こども園整備 仮称野沢駅通り公園整備 沢幼稚園跡地の活用した

状況と成果は。

害を及ぼしているが、

けて工事が進んでいる。 平成28年度中の完成に向 事業及び認定こども園は、 仮称野沢駅通り公園整備 29年度中に改修工事が完 了するよう準備中であり 役場庁舎移転は、 平成

状況と完了時期は、 町縦貫道路の進捗

ら、県代行事業として採 択され、計画通り進んで 事業規模が大きいことか 橋屋橋の架け替えは、

> 線の樟山バイパスも順調 完成する予定である。 げた工事が完了し、町道 いるところである。 備が始まるよう要望して 新郷線の中町峠も順次整 に進んでおり、県道奥川 野沢柴崎線区間につい おり、平成29年度には橋 一方、県道上郷下野尻

> > は。 り支援事業の実績と評価 活力ある地域づく

役場庁舎移転計画や旧野

旧野沢小学校の新

るなど、大きな事業効果 約5年間途絶えていた祭 の地域づくり活動を支援 設して以降、延べ62団体 があるものと考えている 礼が復活したところもあ しており、この事業で、 平成23年度に事業を創



着々と整備が進む縦貫道

町議会では、定例会・臨時会での議案審議のほか、町民生活に関わる身近な課題や、町の施策、 これからのまちづくりに関する調査研究、円滑な議会運営と資質向上に向けた研修といった活動 を行ってきました。



空校舎を改修して役場庁舎とした 平田村を視察(4月)



オープン前にミネラル野菜の家を 視察(7月)



阿賀町の地域おこし協力隊の活動を 視察(8月)

平成28年中の委員会開催状況

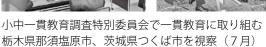
- ○総務常任委員会 延べ17日間(18ページに管外調査報告、134号に管内調査報告を掲載)
- ○経済常任委員会 延べ15日間(19ページに管外調査報告、134号に管内調査報告を掲載)
- ○議会運営委員会 延べ18日間(本会議の運営管理、全国町村議会議長会ほか優良議会視察)
- ○議会広報特別委員会 延べ21日間(議会広報発行4回、研修会参加、優良議会視察)
- ○議会活性化特別委員会 延べ16日間(議会改革に関する調査検討、先進地視察)
- ○小中一貫教育調査特別委員会 延べ9日間(小中一貫教育に関する調査検討、先進地視察)





議会活性化特別委員会で議会改革に積極的な 埼玉県嵐山町、長野県山ノ内町を視察(7月)





議会報告会

5月と11月に開催し、延べ165名の参加者の参加をいただいて活発に意見を交わしました。

国・県への要望活動

町及び関係する市町村・市町村議会と一体となって、県、関係省庁、県選出国会議員、関係機 関への要望活動を行っています。

- ○国道49号「会津防災事業」整備促進期成同盟会(早期完成と藤峠以東までの区間延長要望)
- ○国道400号杉峠改良促進期成同盟会(黒沢~三島町間の道路整備要望)
- ○国道459号整備促進期成同盟会(杉山~徳沢間の道路整備要望)
- ○県道熱塩・山都・西会津線整備促進期成同盟会(弥平四郎~極入間の道路整備要望)
- ○会津地区東北横断自動車道建設促進期成同盟会(磐越自動車道の4車線化要望)
- ○阿賀野川水系直轄地砂防・すべり対策促進期成同盟会(滝坂地すべり対策事業要望)
- ○会津総合開発協議会(道路整備・公共交通及び医療の確保・産業振興などの要望)

一会事務調査

幼・保・小連携の取り組み ~山形県天童市~

視察した。 いる天童市の取組事例を 連携に積極的に取組んで 山形県が推進する幼保小 実・強化に活かすため、 本町の幼児教育の充

る は 0 3 努力を続けてきた結果、 が連携し8年間にわたり 目標に向かって、関係課 登校率を改善するという 5%あった不登校率 7%に改善してい

天童市では、児童の不

を越えて子どもの教育と 情報交換を行うなど、枠 長過程を見守るとともに 業を参観し、子どもの成 先生が小学校1年生の授 児童の情報を得ているこ 幼稚園に行き、早くから 小学校の先生が保育園・ 教育現場等においても 保育園・幼稚園の

> れた。 課題解決に向けた取り組 所と小学校が情報を共有 等を早期に把握し、保育 ことが子どもの更なる成 た教育や指導をしていく みがされていて、児童一 長に繋がるものと感じら しながら成長段階に応じ 人ひとりの個性や問題点

とが望まれている。 教育や指導が行われるこ 共有により、子どもの将 び各課の連携強化と情報 来像を見据えた質の高い 本町でも、関係機関及

連携の取り組み 幼・保・小連携と小・中 ~山形県鶴岡市~

の取組事例を視察した。 的に取組んでいる鶴岡市 携と小中連携教育を積極 化に活かすため幼保小連 本町の養育の充実・強

あった。さらに、教師を 学校・教職員の関係を円 ぐ」ということを大切に 滑化させているようで れており、教育委員会と 会教育指導主事が配置さ た、県教育委員会から社 葉が印象的であった。 せて取り組むことが一番 ことに、教職員が心を寄 り添いながら力をつける 回帰して、子供たちに寄 とは」ということに原点 有」に取り組んでいる。 大事であるとの力強い言 「学びの連携・育ちの共 小中連携では、 「教員 ま



ている。 児童生徒の教育にあたっ 座を開催し、教師の資質 対象として各種研修や講 向上にも力を入れており

より一層望まれている。 どもの学び・育ち」を中 体の寄り添いの進展が、 とのことであるが、 的に小中一貫校を目指す り見えないなかで、将来 育の充実度合いがはっき 心軸に据えた小中学校全 本町では、小中連携教

向上の取り組み 小・中連携教育と学力

した。 大仙市の取組事例を視察 学力向上に活かすため、 に、本町の教育の充実と 秋田県の取り組みを参考 連携教育を推進している であり、積極的に小中 小中学生の学力が日本 ~秋田県大仙市~

がされている。 をし、きめ細やかな対応 把握、調査、検討、分析 地域活性化に寄与できる 学力」を教育の柱にして 生徒の抱えている課題の 育研究所」を設置して、 努めており、「大仙市教 人材育成の環境づくりに 教育研究集会の実施や 大仙市では「総合的な

ができた。 本一の要因を感じること

急に整備する必要がある ステム・プログラムを早 見込めない。教育委員会 も学力アップについても きである。保小連携推進 用も行われており、本町 や大学教授等との連携活 は、資質向上に向けてシ 上が伴わなければ成果が 今以上に教職員の資質向 においても十分検討すべ 教育指導に関して、



経済常任委員会事務調査

10/19

10/21

取り組みについて業振興と地域活性化の森林資源を活用した産

~山形県最上町~

町を視察した。
先進地である山形県最上がくりの参考とするため、た森林資源活用型新産業を森が取り組みを始め

など、森林資源を活用し オマス発電所が参入する 入したほか、民間のバイ バイオマスボイラーを導 環境モデルタウンに木質 の生産・供給体制が確立 る事業に取り組んできた。 をチップ化して熱利用す われた一斉造林の間伐材 により、昭和40年代に行 総合開発機構の実証事業 新エネルギー・産業技術 て、国立研究開発法人・ 度から平成22年度にかけ これにより木質チップ 公共施設や若者定住

> **ぶへら** に向けた環境整備が進ん た持続可能な社会の実現

最上町が成果を上げてきたのは、森林を地域のでの経済循環、い地域内での経済循環、い地域内での経済循環、い地域内での経済循環、い地域内ではがら行政と民繰り返しながら行政と民繰り返しながら行政と民に立ち、本町でも大いにであり、本町でも大いにであり、本町でも大いにであり、本町でも大いに

最上町では、平成17年

について民間協議団体・雪室)

り組みを視察した。 雪国に共通の課題であ まちづくりの参考とする まちづくりの参考とする ため、山形県新庄市の取

に指定されており、雪が少なかった昨年でも最大 小なかった昨年でも最大 であ、市民と行政が協働 ため、市民と行政が協働 ため、市民と行政が協働

除雪作業を迅速かつ円 滑にするため、市内3か 所に積雪感知センサーを 設置して、降雪量が出動 設置して、降雪量が出動 は作業員に連絡する仕組 に作業員に連絡する仕組



いる。組みを試験的に実施してよっても出動できる取り

新庄市は特別豪雪地帯

このほか、町内会が行っ除雪活動のための除雪 人の雪下ろし支援、克雪 ペの雪下ろし支援、克雪 ペエ事に対する補助制度 など、きめ細かな対応が などれている。

本町でも新たな雪対策基本計画が策定されたことから、自助・共助・公助の協働のまちづくりによる誰もが住みよい雪国の創生に向けた今後の取の創生に向けた今後の取り組みに期待したい。

歴史文化を生かした観りまちなみ観光の取組み

を視察した。 がした観光の取組み状況がした観光の町並みを活光振興の参考とすべく、

また、地元の高校生が でまちなかを案内しており、地域への愛着を深めり、地域への愛着を深め るのにも大いに役立って るのにも大いに役立って る観光客が訪れる角館で る観光客が訪れる角館で

> ネットワークを駆使した 親光客による自発的な情 観光客による自発的な情 報発信が誘客に大きな効 で、情報化時代に対応し で、情報化時代に対応し た環境整備の必要性を改 めて認識するとともに、 めて認識するとともに、 場文化、越後街道といっ はじめ芸術村や野沢の宿 はじめ芸術村や野沢の宿 たスポットに心惹かれ情 たスポットに心惹かれ情 たスポットに心惹かれ情 たスポットに心意かれ情

角館地区は会津と歴史



第7回議会報告会(町民と議会との意見交換会)

11月8日から14日にかけて9会場で開催 70人が参加

民のみなさんとお詰

問

セミナーハウスの実現に

むけて取り組んでほしい。

町でニーズや規模につい

て調査を行っている。

木質バイオマス等の森林

問

定数適正化の検討は進ん

でいるか。

地域活性化

う考えるか。見込はあるもの 資源活用について、議会はど

うな先進地を視察している。

町にとって参考となるよ

る。平成29年中には具体的な

特別委員会で検討してい

検討結果が出る見込み。

(19ページに関連記事)

議会に対して

問

窓口で聞けば分かるよう

整っているか。 冬期間の所得確保が課題 新規就農を入れる体制は

中心に進むものと考える。 であり、菌床との複合経営を

上に努めます。

要望として承り、

してほしい。

質問で終わらず、十分に追跡 な一般質問は好ましくない。

ふるさと納税

ているのか。 内全戸に配布しており、 している。 会などでの呼びかけをお願い 町ではパンフレットを町 同級

問 ある。 が出るが、 題はないか。 ふるさと納税の広報はし 一般質問でたびたび質問 現状維持の答弁で

問

取り組みが十分でないよ

うに思う。PRや返礼品に問

教育・子育て

答 きではないか。 |問||小中一貫教育を推進すべ 議会も特別委員会で調査検討 している。 審議会で審議中である。

無料化には2400万円

関連記事) 携をどう考えるか。 問 実施している。 総務常任委員会で調査を 議会では幼保小・ (18ページに 中の連

活

まれる。 問保育料の完全無料化が望

婚

その他の質問

制度がないので支給され

のでは。 り基本条例は機能していない 声をしっかり町政に反映する 答)条例があることで町民

問

ある。

たうえで検討するとのことで が必要になり、財源を見極め

だったのか。役場庁舎は移転 横町館跡発掘調査は必要

|答|| 文化財保護法により調査 が必要である。議会も議決し できるのか。

問 答)年齢制限はあるが、 施してほしい。年齢に関係な いるようである。積極的に実 業を委託して実施している。 婚活を手掛ける民間業者に事 今年度から予算を増額して、 く参加できないか。 参加者がマンネリ化して 町は

いるのか。

問
政務活動費は支給されて

ているので、

改修工事は行わ

ていない。 議会基本条例、まちづく

ことができる。

総務常任委員会で調査します

デマンドバス

してほしい。

距離に関係なく同一料金に

に荒れているので、整備する考えは

車の乗り入れでグラウンドが非常

ほしい。 るようにしてほしい。 スパークに停留所を設けて 空席があれば途中乗車でき

行政サービス

しい。 知らせが見れるようにしてほ ケーブルテレビで過去のお

空き家対策

お願いしたい。 などがある空き家への対策を どうなったのか。倒壊の危険 空き家アンケートの結果は

経済常任委員会 で調査し ます

西会津国際芸術村

感じられる。 どうか。 る。分かりやすい看板を設置しては との関わりが希薄化しているように 地域との相互理解が必要では。 取組みが活発化する一方で、 芸術村の道を尋ねられることがあ 地域

集落活動

い。窓口周辺を明るくしてほ 対応できる体制をお願いした

昼休みの窓口対応ですぐに

充をお願いしたい。 支援してほしい。 木の技術者が不足しているので町で 活力ある地域づくり支援事業の拡 農道・水路を管理する人手と、

土

雪対策

雪を押す場所のないところでは、

取り壊しを指導できないか。 周辺への影響が心配なので、

空き家にサルが侵入して

るので、かさ上げできないか。 運搬除雪を頻繁にしてほしい。 道に段差があって除雪に支障があ

あるので改善を望む。 直営と民間委託で稼働回数に差が

教えて!決算認定

今回の報告会では9会場中6会場で決算が不認定になった理由、不認定によって生活に影響は あるのか、何か重大な問題があったのかなど、多くの質問をいただきましたので、決算認定とは どういうものかお知らせします。

地方公共団体(県や市町村など)は、毎年度の決算について、地方自治法第233条第3項の規定に 基づき、議会の認定に付さなければならないことになっています。

議会における決算の認定は、監査委員の意見、その年度の歳入歳出予算執行の結果を総合的に 検証し、行政施策の質や効果などを客観的に判断し、その後の予算編成や財政運営に活かすこと を目的としています。

決算が不認定になっても法的な効果はなく、決算をやり直したりするものではありませんが、 今後の予算執行や事業の進め方への改善や反省を促すという意味が含まれます。

この人に インタビュー

鉄江さん(出戸)です。 おこしに活躍された三瓶 屋虚空蔵尊の修復とむら 化財に登録されている岩 を通して紹介します。 民の方々をインタビュー 方面で活躍されている町 今回は、 このコーナーでは、 町指定重要文

り組まれたきっかけは。 岩屋虚空蔵尊修復に取 私が区長であった平成

どを集落の共同活動で

を視察しました。

式は、

穏やかな天候に恵

分列行進の足取り

新年8日の消防出初め

られる一日でした。 も心なしか軽やかに感じ

行っていますが、作業の

となった次第です。 用して岩屋様の修復に有 志の方々と取り組むこと 町の補助金を活

となっています。

ていくうえで大きな課題 てきていて、今後維持し できる人数が少なくなっ

縁日(祭礼)の事業を行 現在では、出戸区長が

すが、米づくりで何か活 チャンピオンでもありま

-西会津一うまい米初代

動をされていますか。

した。 参拝者は年々増えてお 昨年は77名が訪れま

出演しました。

に

しあいづ議会だより

No. 136

発行 編集

課題についてお聞かせく

プライド」こだわり通信

昨年は県の「ふくしま

の取材を受け、CMにも

参拝者の推移と今後の

各

岩屋様までの参道整備な 縁日を迎えるにあたり、

米作りと地域おこしに励む鉄江さん

プロフィール 齢:75歳

は。 一町議会や町に望むこと

です。 るので、有害鳥獣対策に 言えない状況となってい 業を担ってほしいなどと の被害があり、とても農 い範囲でサル・イノシシ 真剣に取り組んでほしい 出戸集落をはじめ、広

躍を期待しています。 いました。今後ともご活 ―ご協力ありがとうござ

ていく姿を想像しました。

質疑では、雪の安全面、

稲作の講演依頼などもあ

また、町内の集落から

います。 上げていきたいと思って 米づくりを応援し、 できる範囲で本町の 所:出戸(奥川) 住 年 家族構成:妻と二人暮らし 盛り 味:昔は魚釣り 趣

で、

中心とする太い丸太柱や ないとのことでした。

ていて、木の温もりに包 角材が縦横無尽に交差し の寄附を含む地元産材を いるため、あまり影響は 設備や内装工事といった 雪に覆われていましたが、 に遊び、感性を豊かにし まれた天井の高い広々と 建物内部の作業に移って 外装はほぼ完成し、電気 した空間のもとで、元気 中に入ると、町民から 年明けの大雪で周囲は 園」新築工事の進捗状況 認定こども園新築工事 「西会津町こゆりこども 今年4月の開園を予 月16日の全員協議会

の回答でありました。 の充実に取り組んでいき を視察して、子育て環境 保小連携の取組事例など いるとともに、 月の開園を心待ちにして るよう、議会としても4 健やかに逞しく成長でき たちが、元気に通園し、 の要望を反映していると 対策を取っており、現場 て、安全面、 方についての質問に対し 備品購入に関しての考え 広い空間での暖房効率 町の将来を担う子ども 環境面での 先進地の

編集後昆

議会の動き

努めました。 り読みやすい紙面作りに とうございます。 覧になって、前号との違い にお気づきでしょうか? 字体を若干変更し、 新年明けましておめで 今回の議会だよりをご

りにこれまで以上に取り と言う皆さんの年始の挨 ないと冬も楽なんだが」 次第です。 組む必要性を強く感じた 拶に共感を覚えるととも に大雪に困らない町づく 「正月過ぎまで雪が少

三留 満

(45) 4537郡西会津町野沢

//

//

青木照夫

議会広報特別委員会 福島県西会津町議会 e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp 7969 - 4495下小屋上乙3261 **6**0241 (45) 453 福島県耶麻郡西会津町野

編集委員

副委員長 委 員 長 員 三留 薄 三留正義 秦 幸一 貞継 満